

■ドイツ：需給調整機能が特長の最新鋭のリグナイト焚発電所が運開

2012年8月15日、ドイツの電気事業者であるRWEが26億ユーロをかけて建設したノイラート発電所BoA2号機、3号機（合計出力220万kW）が運開した。同発電所は、ドイツ国内から供給されるリグナイト（亜炭）を燃料とした最新鋭の火力発電所で、蒸気条件が600℃/272bar、効率が43%である。同発電所の特長は、風力や太陽光などの出力変動に対応できる迅速な需給調整能力で、運開にあたり開催された式典では、5分間で15万kW（変化率：約3%）の出力変化を実演してみせた。RWEは火力発電を新設する際に、初期の設計段階から需給調整機能の強化に重点を置いている。